

柵の木からの手紙

2016年 10月号



9月末には芋の収穫が終了する予定が、畑の芋は手つかず。畑の雑草も8月25日に刈り払って以来1ヶ月、種実を充実して草畑です。

10月 神無月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 1日：新月 : 旧暦 9月 1日
- 8日：寒露
- 16日：満月 : 旧暦 9月16日
- 輝農祭 大空町道の駅 ほのか 10時～
- 23日：霜降
- オホーツク収穫祭 MOA北見センター 9時～
- 31日：新月 : 旧暦 10月 1日

上の写真左は草刈り前、右は9月25日夜の草刈り後。

芋を収穫する際に、草をこのままにしておく機械に絡まって作業性が悪くなる。草を刈り払っても大量の草の根によって作業性が悪いのです。一般の芋の収穫の半分の作業性になる。選別作業者を減らして、トラクタを自動運転にして、私は機械の草排出コンベアによじ登って、草の掻きだしをしなくてはなりません。

かと言って雑草が悪いのか？ 一般圃場では、緑肥の種を購入して畑に播種して生育させて畑にすき込んで有機物の肥料としている。それならば雑草は？無料で永久的に種が播かれて時期になると生育して枯れて有機物の肥料となって行く。ただ、人為的な作物との関わりと人の思いで問題が出て来る。草が在っても収穫出来る様な事も考える必要が在りそうです。

MOA自然農法プレミアム の黒大豆（黒い瞳）。

生育が遅れていますが、9月末に枝豆として僅かに食してみました。2粒の莢が多いですが、甘みがあり生で食べられます。まだ、黒色には成っていませんが、葉が黄色くなり始めている株では大豆に黒い色が付き始めています。

5月末の「家庭菜園セミナー」終了後に植えたミニトマト。赤い実がひとつ、ふたつと増えて10個に成りました。勿体なくて収穫せずにいましたが、

何時の間にか1個1個と数が減っています。キツネか熊が来て食べているのかも知れませんか？

